

# 7月豪雨 激甚

## 新型コロナウイルス感染症対策事業費

今回の補正予算に計上された当該事業費は、新型コロナウイルス感染症に伴い国が行なった経済対策のうち、対象とならなかった方々を対象にした支援も含まれており、主な支援事業などは以下のとおりです。

### ・大崎町新型コロナウイルス感染症対策補助金

1億12万2千円

(町独自の取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の影響により15%以上50%未満の減収となった第3次産業の事業者に対して一律30万円を支給したが、その第二弾の支援や全町民向けに商品券を配布するなどの経費)

### ・プレミアム商品券発行事業補助金

2900万円

(町独自の取り組みとして、プレミアム率100%の商品券を発行するための事業に係る補助金)

### ・農林漁業者経営支援給付金

2100万円

(国の持続化給付金の対象とならなかった農林漁業者に対して一律30万円を支給)

### ・大崎町新生児子育て支援臨時給付金

700万円

(令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児を対象に、町独自の取り組みとして、一人当たり10万円を支給)

## 令和2年度大崎町水道事業会計補正予算 (第1号)

今回の補正では、令和3年度に中山第二水源地の塩素消毒施設と調整槽の改修を計画していることから、その実施設計に必要な経費が主なものとなっています。

**質** 令和3年度に中山第二水源地の改修を行うことによって、町民はどのような恩恵を受けるのか。

**答** 家庭に供給している水道水は、安心安全な水を供給するために塩素濃度の管理を行なっているが、中山第二水源地においては水道法などで定められた塩素濃度を保つために苦慮している状況である。また、調整槽については完成から45年経過しており、耐震機能が低い施設であると認識していることから、令和3年度に中山第二水源地の塩素消毒施設と調整槽の改修を行うことによって、安定した水質の水を常に供給できると考えている。なお、調整槽を新しく整備することで、耐震機能を備えた施設になることから、災害発生時などの非常時においても、安定した給水が可能になると見込める点が町民へのメリットになるものと考えている。